

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホームつつじⅡ(第一ユニット)	評価実施年月日	平成21年11月26日～平成22年1月25日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年2月23日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>独自の運営理念の他に5つのポリシーが決められており、それらに基づいたサービスを提供しています。</p>		<p>運営理念の中に地域に、根ざした文言を加えました。</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>運営理念を職員の目に止まる所に掲示しています。社内研修の中でも取り入れ実践できる様に努めています。</p>		<p>日々の生活の中で、理念を念頭に置き実践しています。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>見やすい場所に掲示しており、入居の際にも説明しています。また、運営推進会議などにおいても説明しています。</p>		<p>運営推進会議の中でも日々の暮らしや取り組みについての報告を写真を見て頂きながら行い意見交換をしています。地域との交流の場を大切にしていきたいです。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>近隣の施設の方々が散歩などされている時は、挨拶を交わしています。ホームでの催し物がある時は、お声を掛け参加して頂けるようにしています。夏祭りにも参加して頂きました。</p>		<p>小学校の運動会に出掛けたり、雪あかりの路では地域の小学生達がボランティアで参加して下さい、一緒にオブジェ作りを行いました。お互いの行事に参加する機会を持ち、交流を深めていきたいです。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>地域小学校の行事や他施設のお祭りに参加しました。また、地域の広報誌にウエスの寄付を呼びかけた所、多数の方々から協力を頂きました。お正月には幼稚園児からの寄せ書きも頂きました。</p>	○	<p>より一層、地域の方々との交流を深めるように、企画などを考えて取り組んでいきたいです。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>ウエスの寄付などにより、関係の出来ている地域の方に対し、ホームで介護相談を受け付けている事をご案内しています。</p>		<p>グループホームの特性を活かして、認知症の勉強会など企画していきたいです。また、地域の方から気軽に介護相談が、持ち込まれるような関わりをしていきたいです。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>自己評価や外部評価報告書に基づき、職員全員が十分に話し合いを行い改善に取り組んでいます。</p>	○	改善点の把握・補いを行ない、より良いホーム作りに努めていきたいです。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し、地域の方やご家族との話し合う場を設けています。そこで出たご意見をサービスの向上に活かしています。</p>		運営推進会議の中で自己評価・外部評価についての報告を行っています。改善に向けた取り組みを今後も意見交換しながら、サービス向上に活かせるように努めていきます。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>小樽市の開催する勉強会やグループホーム協議会には積極的に参加しています。</p>		市町村担当との関係作りを行い、連携を深めていきたいです。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>社内研修にて学ぶ機会を持ったが、活用には至っていません。</p>		権利擁護に関する制度の理解を深められるように、学ぶ機会を作っていきます。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>身体拘束については、定期的に委員会を開催しています。身体拘束や高齢者虐待防止については職員が熟知できるように、社内研修でも学ぶ機会を作り取り組んでいます。</p>		勉強会を通じ、虐待防止の徹底に努めていきたいです。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>サービス提供時に契約書・重要事項説明書などを説明し、同意を頂いています。また、解約時には十分に話し合いを行い、不安の軽減に努めています。納得いく退去先に移れるよう支援しています。</p>		今後も十分な説明を行い理解・納得して頂けるように努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見や不満・苦情に思っている事があれば、都度伺うようにしています。ご家族からも利用者様の情報を都度お伺いするようにして、解決に向け取り組んでいます。		それぞれの家族にあった対応を行っていきます。面会時には利用者様が作った作品やアルバムなど見ていただいたり、ホームでの過ごし方もお話しています。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	面会時に、健康状態や暮らしぶりについてお話ししたり、来られない方の為に電話で報告を行ったりしています。また、2ヶ月に1度ホームの暮らしぶりをお便りで、お知らせしており、金銭管理ではお小遣い帳を作成し、収支を明らかにしています。		運営推進会議や面会時などに、アルバムなど見て頂きながら暮らしぶりを継続して伝えていきます。ホーム便りの発行も、4回に増やしています。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情受付窓口は、入居時に重要事項説明書などで説明しています。家族からいただいた苦情等については、苦情報告書に記入し、社内で周知徹底するようにしています。ご家族が気軽に意見など言える雰囲気作りを心掛けています。		ご家族が気軽に職員に話せるよう、日頃からコミュニケーションを大切にし事業所運営に反映させたいです。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	個別に意見や提案をお聞きしたり、定期的にフロア会議を開き、意見交換の場も設けています。		職員の意見や要望を反映できるよう努めていきます。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	業務に支障がないように、勤務の調整を行っています。		ヘルパー資格を持つ事務職員や看護師免許を持つ職員が手伝いに入る事もあります。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動や離職があった時は、利用者様へのダメージが最小限に抑えられるよう、職員がいつもより多く関わりを持つようにしています。		利用者様の関わりを多くし、少しでも不安や寂しさを解消していただけるように配慮しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>社内研修は、年間計画を作成しており段階に応じて外部の研修にも、参加できるようにしています。</p>	○	社内・社外研修を充実させ、各自が向上していけるように努めていきたいです。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>他のグループホームの見学や外部研修などを通して、同業者との交流を図っている。</p>	○	同業者との交流を深められるように努め、サービスの質の向上に取り組んでいきたいです。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>職員同士の親睦は、図られています。悩みやストレスに感じている時など、相談のり軽減に努めています。</p>		職員同士が話しあったり、相談できる環境を作りたいと思います。各フロアの管理者などが集う機会がありお互いに相談しあっています。
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>それぞれの職員が、能力を発揮できるように努めています。段階に応じて、外部研修で学ぶ機会も作っています。また、ヘルパーや介護福祉士などの資格取得についても、勧めており社員登用の制度もあります。</p>	○	資格取得を推奨し、目標を持って働いていけるように努めていきます。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入院先の病院で、面談の機会を持ち話をよく聞いています。ご見学をお勧めしご本人が納得して不安なく、ここでの生活を送れるように支援しています。</p>		見学を勧め、これからの生活の場をみてもらっています。不安に思っている事やこれまで楽しみに行っていた事など、お聞きし具体的な生活支援を提案しています。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>ご家族の思いを良く聞くようにしており、不安な事や困っている事を受け止める努力をしています。</p>		ご本人が、納得した上で無理のない入所ができるように、見学や体験を進めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人やご家族の方が、必要としている支援を見極め、対応していくように努めています。		ご本人やご家族の相談時に、必要としているサービスができるように対応し、必要があれば他のサービスの対応もしています。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人やご家族にホームの見学をしていただき、ホームの雰囲気を感じていただきご本人が納得し安心して入居できるようにしています。		ご本人、ご家族の心情を考慮しながら、安心してサービスを開始できるように、対応していきたいです。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	昔の体験談や生活の知恵を聞き、教えてもらうという姿勢で接しています。人生の先輩として、接するように心掛けています。		料理や裁縫、ことわざなど教えていただきながら、一緒に過ごし学び、支え合う中で、自身を回復し自分らしい生活を送れる様に支援していきたいです。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会時や電話にて、日々の様子をお伝えし、ご家族からの意見もお聞きし、より良いサービスができるようにしています。また、夏祭りなど催しにお誘いして、ご家族と一緒に楽しむ機会を設けました。		面会時や電話などで、日々の生活をお伝えしています。今後も、利用者様と一緒に支えていく為、より良い協力関係を築いていきたいです。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	家族関係の理解に努め、お互いに対する思いを確認しながら、良好な関係が築けるように支援しています。		入居の際に、家族関係・友人関係・交流関係を確認し、継続できるように支援しています。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	ご家族の協力の下で、以前からの病院を継続したり、散歩や外食など楽しんだりされています。またホームでも、馴染みの病院へお連れしているご利用者様もいます。		ご家族の協力を得ながら、ご本人の希望に添って継続して支援しています。



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	ご利用者様間の、相性や個々の性格に配慮しながら、気の合う仲間作りの支援をしています。 お互いに、支え合う関係はできており、それを支援しています。		一緒に、家事仕事をしている時や余暇活動、お茶の時間など、会話が弾むように話題提供など行っています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	契約終了後も、相談があればいつでも応じますと伝えてあります。		今後も、付き合いを大切にして利用者様、ご家族に訪ねて、もらえるような関係を作りたいです。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	希望や意向など、その都度聞くように努めています。聞く事が、困難な時には表情や動作から思いを探り検討しています。入居時にご本人、ご家族より生活歴を伺い、その人らしい生活が、継続できるように支援しています。		ご本人の気持を一番に考え、一人ひとりに合ったケアが、行われるように支援していきます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人、ご家族より、生活歴や嗜好などをお聞きし、フェースシート・インフォメーションシートとして記録しています。 今までの、サービス利用の経過も把握に努め、情報を基にその人らしい生活が送れるように支援しています。		聞き取りした内容を職員は、共有しこれからも、より良いサービスを提供できるように努めていきたいです。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	ご本人の1日の流れを、把握し食事量・バイタルチェック・水分・排泄など確認し記録を残しています。 申し送りや、会議、申し送りノートなどで日々の様子を職員間で、共有できるようにしています。		毎日のバイタル測定で、健康状態に留意し職員間で情報を共有しながら現状の把握に努めていきます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人、ご家族の意向を確認し、心身状態の変化を見ながら個々に合った介護計画を作成できるように、職員間で話し合っています。		担当者会議で、検討して作成していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		<p>ご本人、ご家族と相談しながら、現状に適した介護計画を作成できるように、今後も努めていきたいです。</p>
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		<p>介護計画を基に、日々の様子を介護記録に記入しており、情報も共有しています。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		<p>面会時には、居室・リビングなど自由に利用して頂いています。宿泊を希望される方には、ゲストルームを用意してあります。ご家族の同行が難しい時など、通院や美容室の付き添いなど行っています。ご家族が、一緒にリビングで食事する事もありました。</p> <p>要望があれば、できる限りの対応を行っていききたいと思います。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○ 地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>	○	<p>地域資源と協働しながら、ご本人がより良く暮らしていける様に、努めていきます。</p>
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>		<p>他の、ケアマネジャーや事業者と連絡をとっています。</p> <p>必要に応じて、地域のケアマネジャーやサービス事業者と相談を行っていきます。</p>
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>		<p>地域の包括支援センターには、運営推進会議に参加していただいています。必要時には、協働できる関係作りをしています。</p> <p>権利擁護などの必要性に応じて、地域包括支援センターに相談したいと思っています。</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	協力病院へ移行するか、以前からの病院を継続するかはご本人、ご家族に確認し希望される受診や往診が行えるように支援しています。		契約時にご本人、ご家族に、ご意向を確認させて頂き、個々に合わせた医療機関が、受診できるように支援していきます。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力病院の医師に、相談しています。専門医の診察が必要であれば対応も行っています。		主治医に相談しながら適切な治療が受けられるように今後も支援していきます。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員がおり、日常の健康管理を行っています。利用者様の体調で何か心配な事があれば、協力病院(内科・整形外科・歯科精神科)の看護師に相談し、医療活用の支援を行っています。		協力病院の看護師に相談しており、医師との橋渡しを行って下さっています。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には、ご本人に関する必要な情報を提供しています。ご家族・医師と連絡をとりながら、速やかな退院支援に結びつけています。		ご家族・病院と連絡を取り合い、今後も早期退院に向けて情報交換をしていきます。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	主治医や、ご家族と早い段階から十分に話し合いを行って、方針を決めています。	○	重度化や終末期に向けての指針を検討中です。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご本人、ご家族の意向を踏まえ、主治医とも相談しながら、ご本人が納得し安心して過ごせるように支援しています。		定期的な治療を受けながら、ご本人がより良く過ごせる様に支援しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>住替えが、行われる場合は家族や利用者様、住替え先の関係者などと十分な情報交換や話し合いを行っています。</p> <p>利用者様の負担が軽減され、安心して生活が送れるように支援を行います。</p>		<p>利用者様の負担を一番に考え、話を進めるようにしています。</p>
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>人生の先輩として敬う態度で教えていただく立場と考えながら接しています。</p>		<p>個人の記録の取り扱いについては、十分配慮をしています。</p> <p>申し送りを行う時にも、個人名ではなくイニシャルや居室の号数で示すなど配慮を行っています。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>ご自分で決定できるように、分りやすくお伝えしたり問いかけたりしています。</p> <p>多くの選択肢の中から選んで頂いたり、2種類の中から選んでもらったりと質問はその利用者様に合わせて、自己決定ができるように努めています。</p>		<p>思いを表す事が困難な場合は、ご本人の思いを会話や動作から読みとり対応していきます。</p> <p>趣味活動や美容室の利用など、ご利用者様の希望を取り入れた支援をしています。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>日々の生活は、ご利用者様のペースを大事にしており、個々の性格・体調・状況に合わせた対応を心掛けています。</p>		<p>食事・入浴・手伝いなどは、個々のペースに合わせた対応を行い、自由に過ごしていただけるように支援しています。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>季節に合った服装やその人らしい衣服が着られるように、支援しています。</p> <p>美容室や訪問理容で、本人の望む髪型にできるように支援しています。</p>		<p>季節・生活パターンに合わせた、着替えを見守りしています。</p> <p>時に、アドバイスをしながら支援しています。</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>職員と利用者が、一緒に食事の準備や食卓の準備、片付けを行っています。</p> <p>また、何が食べたいか希望を聞き可能な限り、食材を工夫したり季節や行事に合った、メニューを提供し盛り付けなども工夫しています。</p>		<p>食事の配膳や後片付けなど、毎日の役割として行っていただいているご利用者様もいます。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	日常の会話の中から、個々の好みを把握しできる限り、状況に合わせて楽しめるように支援しています。		煙草を吸われるご入用者様がいます、火の取り扱いには十分に気をつけ職員の見守りの下で吸っていただいています。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	トイレ誘導や声掛けが必要な方には、さりげなくサポートしています。失禁による不快感を軽減し、できる限りトイレにて排泄する事が、できるように支援しています。		声掛けなどにも配慮し、個人の尊厳を大切に対応していきたいと思えます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	体調やご本人の気分に配慮し、できるだけご本人のペースで入浴できるように支援しています。		シャワー・清拭なども用いながら、個々に合った対応を行ってまいります。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人ひとりの生活リズムや体調に合わせて、休息を取れるように支援しています。夜間は、巡視にて安全の確認を行い、安心してゆっくりと休めるように、見守りを行っています。		リビングで、テレビをみたり、居室にてラジオを楽しまれる利用者様もおられ、自由に過ごしています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	入所の際に、ご本人やご家族から生活歴や楽しみ事を伺うようにしており一人ひとりに合わせた楽しみ事が、行えるように支援しています。また、お仏壇の花やお菓子を近くのお店へ買い物に行く事もあります。		個々の役割や楽しみ事を知り、張り合いのある生活を送れる様に、支援しています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人・ご家族の希望により、お金を所持している利用者様もいます。お金はお小遣いとして預かり事務所の金庫にて管理しています。	○	ご本人が、お金を持つことで安心感を抱いているので、継続して対応していきます。また、利用者様の希望に応じ、買い物に出る機会を日常的に作るよう努めてまいりたいと思えます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p> <p>職員と近隣を散歩したり、催し物に参加したり、ご家族の協力の下ドライブや外食、自宅に外泊されたりしている利用者様もいます。</p>		<p>個々の体調をみながら、無理のないように全員が戸外に興味を持つ事ができるように、支援していきたいです。</p>
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p> <p>インフルエンザ流行により、毎年恒例のお花見や紅葉狩りなどの行事は、予防の為に中止になりました。 ご家族の協力の下でお墓参りや外食、お買い物などに、出掛けられる利用者様もいました。 小学校の運動会見学は、全員ではないが、参加する事ができました。</p>	○	<p>外へ出掛けられるような機会を多く持てるように、取り組んでいきたいです。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。</p> <p>ご家族やご友人へ電話をかけたい時は、いつでもかける事ができます。 お手紙を書けるように、ハガキを持っている利用者様もいますが、書いた事はありません。</p>		<p>電話を使用したい時は、いつでも使える事を伝えています。</p>
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p> <p>気軽に訪問していただけるように、笑顔でお迎えしフロアや居室などでお茶を飲みながらゆっくりとお話していただけるよう支援しています。</p>		<p>ご家族やご友人の方々が、いつでも気兼ねなく面会が、できる雰囲気を心掛けています。</p>
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> <p>身体拘束廃止推進委員会を定期的開催し、話し合いを行っています。また身体拘束をしないケアに取り組んでいます。</p>		<p>継続して身体拘束をしないケアに取り組んでいます。</p>
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p> <p>日中は、開けていますが、夜間は防犯上施錠をしています。</p>		<p>夜は遅番が、退社後に掛けています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	昼夜通し、利用者様の所在や状態を把握し、安全に配慮しています。その様子は介護記録に記載しています。		勤務前に介護記録・申し送り・申し送りノートで様子を把握し安全確認に努めています。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	洗剤を含む薬剤・火気・刃物・薬類などは職員が管理していますが、必要な際は状況に合わせてお渡しし、見守りのもと使用して頂いています。		ご家族と話し合い了解を得ています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故報告書やヒヤリハットを作成し、今後の対応について検討しています。また、社内研修で、事故防止について学んでおり、マニュアルも作成してあります。		急変時や事故発生時に、すぐに対応できる様に、今後も社内研修などで学ぶ機会を作っていきます。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	事故発生時に備え、救急救命の講習、研修を消防署の協力のもとで行っています。		社内研修の中でも、学ぶ機会を作りました。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練、自主訓練、夜間避難訓練などを行っています。隣接しているグループホームと協力し、安全に避難できる体制を整えています。		定期的に、避難訓練や救急救命の受講を行っています。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	ご家族からの情報も、お聞きしながら対応策を話し合っています。転倒や誤嚥などの危険性などについては、都度説明しています。		食事の形態を見直したり、歩行時の支えなどに配慮し、誤嚥する危険性など、ご家族に説明しています。また行っている対応もお伝えしています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日の血圧測定・検温・顔色・食欲・歩行・話し方などの確認をし、いつもの様子の違いを職員間で確認しています。変化があれば、速やかに対応できるように支援しています。		毎日の生活の中で、個々の生活状態を把握して、異変の発見に努めています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	個々の薬箱があり、職員が管理しています。薬の説明書は、記録簿の中に綴り確認しており、薬が変更になった際は身体・精神面での変化に十分に注意し、観察しています。		薬が、変更になった場合には、申し送りノートなどで情報を共有しています。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	体操や飲食物の工夫、医師への相談など行っています。また、介護記録に水分や排便状況をできる範囲で、記録し把握に努めています。		社内研修の中で便秘についての学習会を行いました。中には、牛乳やヤクルトを予防の為に飲んでいる利用者様もいます。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、声掛け・見守りにて、歯磨きをしていただき、不十分な利用者様には、一部介助を行っています。夕食後には義歯を預かり洗浄剤につけ消毒しており、清潔を保てるように支援しています		正しく行えているか見守りを行い、不十分な所は援助しています。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量・水分量はおおよそ把握し、介護記録に記入しています。食欲のない方や飲み込みの悪い方など、一人ひとりに合わせてお粥やミキサー食やとろみをつけるなど、工夫をしています。		体重の増減を確認しながら、盛り付け量を調整しています。食事量の確保に努めています。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外部から持ち込まれないように、ご家族や来客の面会時にも手洗い・マスクの着用消毒などをお願いしています。食事や掃除・汚物処理などを取り決めた、感染症マニュアルがありそれに添って予防に努めています。		感染症予防は社内研修のほか、感染対策委員会でも学んでおり運営推進会議においても、保健所から得た情報の伝達を行っています。



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	台所・布巾・まな板などは、毎日消毒を行い食材は鮮度の良い物を使用し、賞味期限などを確認しています。また加熱にも注意を払っています。		毎日の台所用品の消毒、週1回の冷蔵庫内の消毒後に、キッチンチェック表へ記入しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	中庭には植木・花壇・野菜畑・とり小屋があり、癒しの空間となっています。来訪者には、速やかに対応し気持ちよく利用できるように努めています。		中庭に、設置しているテーブルやベンチは、散歩の際に近隣の方も、立ち寄って使用しています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の草花を生け、行事(お正月・ひな人形・五月人形・クリスマス)などに合わせ飾りつけ、季節感を味わえる工夫をしています。不快な音や光がないように、その都度調整しており快適な環境作りに努めています。		利用者様が、制作した塗り絵や習字、日頃の様子の写真などを飾り明るく楽しく話題のでる雰囲気作りを、行っていきます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング・フロア・居室などを、自由に使用していただき、気の合う仲間同士でおしゃべりを楽しまれたり、居室にてゆったりと休まれたりと、思い思いの過ごし方をしています。		気の合う仲間同士で、居室にてお茶やおしゃべりを楽しまれています。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に、ご本人が使用し慣れ親しんだ物を持参されるように、ご家族にお伝えしています。馴染みの家具や飾り物を配慮し、居心地よく生活できるようにしています。		馴染みのある家具や置物・写真・衣類・食器などを持参されています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	掃除の際には、各居室の窓を開け、空気の入れ換えを行ったり匂いが気になるようであれば、換気扇を回し対応しています。温度・湿度計を設置し、適度になるよう加湿・暖房の調整を行っています。		温度・湿度・換気に気を配り、快適に過ごしていただけるように努めていきます。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム内の床は、バリアフリーで廊下・階段・エレベーター内・浴室などには、手すりを多く設置しています。		出来るだけ、安全に自立した生活が送れるように、環境作りに努めています。 利用者様の身体状況に合わせて、食卓椅子を肘つきに変えたりと調整を行っています。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	居室には、表札をつけわかりやすくしています、利用者様のできる事できない事を把握してできない事は一緒に行っていたり、自立に向け支援を行っています。		ご本人のできる事を無理なく行っていただいたり、できない事も一緒に行う事で、自身の回復につなげていけるように支援していきたいです。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	中庭や散策路で過ごせる様になっています。また花壇や畑を作り一緒に野菜の収穫をしたり、散歩時に花を眺めて楽しんでいます。 暖かい日にはホーム喫茶を行い、敷地内のグループホームの方々と交流する場として活用しています。		中庭は、地域の小学生がお神輿を担いできたり、幼稚園の子供が歌や踊りを披露するステージの役割もあります。 冬期は、クリスマスのイルミネーションを飾ったり、雪あかりの路のキャンドルを飾るなどして、利用者様に楽しんでいただけるように工夫しています。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	③
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	②
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	③

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない  ②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない  ①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  ①
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない  ②

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

家庭的な雰囲気の中で利用者様ご家族の意向を聞きながら安心して安全に生活できるよう努めています。また地域の方々の協力を得ながら地域に密着したグループホーム作りを目指しています。